. 【表B】賃金関連統計調査

調査の名称		毎月勤労統計調査(指定統計)		賃金労働時間制度等総合調査(承認統計)		賃金構造基本統計調査(指定統計)		賃金 引上げ等の実態に関する調査 (承認統計)		事情等総合調査(承認統計)	職種別民間給与実態調査(届出統計)	民間給与実態統計調査(指定統計)
実施機関	大百官	労働省 大臣官房政策調査部統計調査第一課		労働省 大臣官房政策調査部産業労働調査課		労働省 大臣官房政策調査部統計調査第二課		労働省 大臣官房政策調査部労働経済課		労働省 央労働委員会事務局調査課	人事院 給与局給与第一課	国税庁 長官官房企画課
調査対象単位	八正日	事業所		ヘビ目方以來調旦部性業力関調直課 企業		事業所		企業		企業	事業所	事業所
<u>調査実施時期</u> 把握時	F	毎月 月末(または給与締切日)		年1回(1月~2月) 原則として12月末、月間データは		年1回 (7月) 6月30日現在(または6月給与		年1回 (9月) 当年度の賃上げ実施(予定)時		年1回(7月~8月) として6月末日(6月給与締切日)	<u>年1回(5月~6月)</u> 4月分給与締切日	年1回(2月) 前年12月末
	·		75 Dil	11月、年間データは1~12月	糸	帝切日)月間データは6月分	4 4 Dil	,	月間	間データは、6月または7月分´		年間データは前年1~12月分
<u>項 目</u> 給与所得者数	種別 選択肢	質問項目 企業の全常用労働者数	理別 選択肢	質問項目 全常用労働者数(12月末時点)	種別 数値	質問項目 常用労働者数	種別	質問項目	種別 数値	質問項目 学歴別労働者数	<u> 種別 </u>	<u>種別 質問項目</u> 数値 給与所得者数
		全常用労働者、パートタイム 労働者各々につき - 前調査期間の末日の常用 労働者数 - 本調査期間末日の人数 - 本調査期間末日のパート人数 - 採用、転勤職等による増加数 - 解雇、退職、転勤等による 減少人数	数值	期間を定めず雇われている	選択肢	(男女別) 常用労働者数(企業全体) (ともに、6月末時点)			数数数数	労働者平均年齢 労働者平均勤続年数 労働者平均扶養家族数 *学歴・年齢別及び 所定内賃金階級別人員数 *は、社内資料提出で可	(事務・技術、技能・労務別) (過去12ヶ月、月別) 数値 従業員総数 数値 職種別従業員数	(各四半期末時点)
平均給与、給与総額		全常用労働者、パートタイム 労働者各々につき - きまって支給する給与額 - 超過労働給与額 - 特別に支払われた給与額 全常用労働者につき - 賞与 - 3ヵ月を超える期間で算定 される通勤手当 - その他の特別給与	数数数数数	賃金総額 所定内賃金(基本給) 所定内賃金(諸手当) 所定外賃金 上記すべて11月分					数数数数数数	(基本給、手当等内訳) *モデル所定内賃金・一時金 (年齢、学歴、職種、男女別 *実在者所定内賃金・一時金 (年齢、学歴、職種、男女別 *は、社内資料提出で可 役職者所定内賃金(役職別)	選択肢 前年度賞与カットの有無と対象役職 選択肢 当年度賞与の支給形態(夏冬型等) 選択肢 当年度夏季賞与の妥結状況 選択肢 当年度夏季賞与の妥結(予定)時期 変化 当年度夏季賞与が日度比較 選択肢 当年度夏季賞与がいの有無と対象役職 数値 前年度、当年度賞与の支給月数	
諸手当			数値	項目別手当支給者総数、支給総額 (16項目別)(11月分)	N/L /see				数値 選択肢 数値 選択肢 数値	家族手当金額 役付手当制度金額(役職別) 別居(単身赴任)手当の内容 別居(単身赴任)手当支給額 交替制度の形態、手当支給形態 三交替制の手当金額		
初任給					数値 数値	職種、男女、学歴別初任給 職種、男女、学歴別採用人員			選択肢数値	初任給額の決め方 初任給額(学歴、職種別)	数値 初任給月額(職種別)	
(実績、一部計画)	調査期間中の定昇、ベース アップ実施状況 定昇・ベースアップ等の追給			選択肢	ベースアップの決定状況 (1~6月の間)	数値 数値 数値	賃上げ実施状況(ベア/定昇別) (1~9月の実績または 10~12月の予定) 賃上げ額決定日時 賃上げ適用(適用予定)日時 平均賃上げ適・率、定昇額・率 (1~9月実績または10~12月予定 前年の賃上げ額と賃上げ率	数値 数値 数値	(どの構成要素を増額したか	選択肢 改定の内容	
賃上げ決定 プロセス (実績に ついて)							選数 選選 選選 選選 選選	労働組合からの語が表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表				
給与制度の概要			選択肢	賃金制度の改定状況の詳細12項目 (過去3年と今後3年)					筆記 選択肢	賃金項目の算定基準 賃金体系の変更 年棒制導入状況 *は、社内資料提出で可 賃金割増率(残業、休日出勤時	選択肢 人事・給与制度の改正内容(最近5年 選択肢 年棒制の有無	
労働時間、休日等	選択肢 数値 数値	操業短縮、一時休業実施状況 休日の操業、営業等の事業 活動実施状況 出勤日数(延べ日数) 所定内労働時間延べ時間 所定外労働時間延べ時間 夏休みなど週休以外の休日を 追加したかどうか							数值	月間実労働時間数(所定内) 月間実労働時間数(所定外)		

調査の名称	毎月勤労統計調査(指定統計)	賃金労働時間制度等総合調査(承認統計)		賃金 引上げ等の実態に関する調査		職種別民間給与実態調査(届出統計)	民間給与実態統計調査(指定統計)
調査の石術 実施機関	労働省	学生	労働省	(承認統計) 労働省	労働省	人事院	国税庁
調査対象単位	大臣官房政策調査部統計調査第一課 事業所	大臣官房政策調查部產業労働調查課 企業	大臣官房政策調査部統計調査第二課 事業所	大臣官房政策調査部労働経済課 企業	中央労働委員会事務局調査課 企業	<u>給与局給与第一課</u> 事業所	長官官房企画課 事業所
調査実施時期	毎月	年1回(1月~2月)	年1回 (7月)	年1回(9月)	年1回(7月~8月)	年1回(5月~6月)	年1回 (2月)
把握時	月末(または給与締切日)	原則として12月末、月間データは 11月、年間データは1~12月	6月30日現在(または6月給与 締切日)月間データは6月分	当年度の賃上げ実施(予定)時	原則として6月末日(6月給与締切日) 月間データは、6月または7月分	4月分給与締切日 	前年12月末 年間データは前年1~12月分
項目	種別 質問項目	種別質問項目	種別 質問項目	種別 質問項目	種別質問項目	種別質問項目	種別 質問項目
個人サンブル調査	マ特別調査 > (毎年1回、7月31日実施) (毎年1回、7月31日実施) 性別 通勤・住込みの別 家族 働者か否か 年齢 動値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値		 (6月、7年) (5月、7年) (5月、7年)			数値 調査月の決まって支給する給与総額 (職種別)(当年4月分)	数 () 数 ()
人事制度						選択肢 定年制の有無 選択肢 継続雇用制度の有無 選択肢 退職金制度の有無 選択肢 雇用調整の状況	
その他の制度 労働時間制度 水間 次時 み時 水時 水間 定時 水間 定時 水間 次間 下間 な間 下間 な間 下面 大力 大力 大力		選択肢 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数が値 数が値 数					
深夜労働 · 交替制等	*** ***	数値 選択肢 交替制 が の適用労働者数 交替制の形態 数値 事交代制動務の適用労働者数 非交代制動務の適用労働者の 深夜労働年間日数 変値 深夜労働に関連した交替制の詳細 選択肢 各種貯蓄制度の有無					
内福		数値 数値 制度の契約金融機関数 選択肢 住宅融資制度の有無 最高融資限度額、最長返済期間、 融資年利率 (住宅融資制度種類別) 選択肢 住宅資金融資制度の利子補給制度の 有無 数値 利子補給の各種制度の有無 各種制度の利子補給年利率と 利子補給銀度の有無 と 利子相料度の有無 と 表現である。					
持株援助制度 社内保険 援助制度		選択肢 持株援助制度の有無と内容 選択肢 ストックオブション制度の有無と適用対象者 選択肢 社内保険援助制度の有無 (各種の保険種類別) 選択肢 保険料の負担比率					
職場外の生活設計		(各種の保険種類別) 選択肢 製値 年間取得可能日数、1回あたり付与日数 選択肢 リフレッシュ・ゆとり活動支援制度の 有無と内容 数値 リフレッシュ・ゆとり活動のための休暇 制度の年間取得可能日数、付与日数 ボランティア活動支援制度の有無と内容 上記対応休暇制度の年間取得可能 り上記対応休暇制度の年間取得可能 日数および1回あたり付与日数					
労働組合		選択肢 労働組合の有無		選択肢 労働組合の有無			